

科目名	自動車の基礎(工学編)						
科目名(英)	Basic automotive engineering(Basic knowledge)						
単位数	8単位	時間数	120時間	担当者	西村 英功		
実施年度	2022年度	実施時期	通年	担当者実務経験	自動車販売店にて整備士として勤務		
対象学科・学年	国際自動車整備科1年						
授業概要	自動車についての概要、構造、材料、機械的要素、燃料及び潤滑剤、自動車の諸元についての基礎を学ぶ。国際自動車整備科の学生が自動車及び整備技術を学んでいく中で日常会話では使われない自動車特有の専門用語の理解をするために、漢字、カタカナの読み方からスタートし、次年度三級整備士の教科書を学ぶ上でスムーズに学習することの出来る知識の習得を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					自動車の構造等について理解し、簡単な説明をすることが出来る。	
		○				自動車の各部品、材料、燃料等について、その役割を理解し、簡単な説明をすることが出来る。	
	○					自動車整備用語の理解を高め、整備士養成課程の教科書に対応できる語彙力を身に付ける。	
テキスト・教材 参考図書	基礎自動車工学						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1~11	自動車の概要			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	12~52	自動車の構造			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	53~61	自動車の材料			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	62~83	自動車の機械的要素			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	84~86	燃料及び潤滑剤			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	87~105	基礎的な原理・法則			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	106~120	自動車の諸元			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
評価方法	(1)小テストを2回実施する。(2)期末試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価は、学生便覧に則り行う。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	期末試験	○	○				60%
	小テスト	○	○				40%
履修上の注意							

科目名	自動車の基礎(整備編)						
科目名(英)	Basic automotive engineering(Tools and maintenance equipment)						
単位数	8単位	時間数	120時間	担当者	西村 英功		
実施年度	2022年度	実施時期	通年	担当者実務経験	自動車販売店にて整備士として勤務		
対象学科・学年	国際自動車整備科1年						
授業概要	自動車の整備作業は、自動車の安全に対する信頼性を回復、維持させることを目的としており、保安の確保と公害の防止に貢献している。この授業では整備の基礎知識を学び、基礎整備作業をしていく中で使用する様々な工具、整備設備の用途を理解し、構造・機能を知り、実際に整備工具・機器の正しい取り扱いが出来るように知識の習得を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					自動車整備の目的、安全作業の心得を理解し、作業時の安全確保に努めることが出来る。	
		○				整備するための工具、機器類の用途、構造・機能を理解し、正しい取り扱いが出来る。	
	○					自動車整備用語の理解を高め、整備士養成課程の教科書に対応できる語彙力を身に付ける。	
テキスト・教材 参考図書	基礎自動車整備作業						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1~6	整備の基礎知識について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7~45	基礎整備作業(基本作業)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	46~66	基礎整備作業(測定作業)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	67~85	基礎整備作業(エンジン点検作業)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	86~90	基礎整備作業(シャシ点検作業)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	91~94	基礎整備作業(充電作業)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	95~100	基礎整備作業(清掃・洗浄作業)			これまでの授業の総復習を行っておくこと		
	101~104	基礎整備作業(給油作業)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	105~109	基礎整備作業(昇降作業)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	110~112	基礎整備作業(エア・コンプレッサ)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	113~120	基礎整備作業(その他点検作業)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
評価方法	(1)小テストを2回実施する。(2)期末試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価は、学生便覧に則り行う。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	期末試験	○	○				60%
	小テスト	○	○				40%
履修上の注意							

科目名	キャリア教育						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	西村 英功		
実施年度	2022年度	実施時期	通年	担当者実務経験	自動車販売店にて整備士として勤務		
対象学科・学年	国際自動車整備科1年						
授業概要	自動車整備士として働く上で必要となる知識・教養を学び、接客対応の基本を理解し身に付ける。 また整備業界、関係業界も含め、幅広く知った中で、整備士という仕事の役割の理解を深め、社会人として働く意味、意義への理解を高める。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○			○		仕事をする社会人としての心得、心構えを身に付け、整備士としての働き方を表現できる。	
				○		整備士としての接客対応の基本を学び、礼儀挨拶を実践出来る。	
テキスト・教材 参考図書	自動車整備業従業員 新人講習テキスト (日本自動車整備商工組合連合会)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1, 2	社会人としての心得(企業と個人、社会生活の中のきまり、職業人としての自覚)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3, 4	社会人としての心得(職業人としての自覚)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5, 6	働く上での心構え(人間関係)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7, 8	整備事業場の仕事(点検整備の実施、故障者の整備、環境、お客様の良い相談相手)サービス精神			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9, 10	接客対応の基本(身嗜み、礼儀作法、挨拶)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11, 12	接客対応の基本(会話のマナー、敬語)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13, 14	接客対応の基本(来客対応のマナー、名刺交換)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	15, 16	接客対応の基本(電話対応)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	17, 18	接客対応の基本(電子メール)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	19, 20	整備業界とその関係業界(総整備売上高、生産性、労働条件、課題)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	21, 22	整備業界とその関係業界(自動車整備業界の団体)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	23, 24	整備業界とその関係業界(メーカー、ディーラー、)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	25, 26	自動車とその関係制度(自動車の製造、検査・登録、整備)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと		
27, 28	自動車とその関係制度(自動車整備士の資格、技能登録試験、法律)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと			
29, 30	仕事と生きがい(働く喜び、仕事の誇り、良い趣味、自己啓発)			学科教本の該当範囲を事前に読んでおくこと			
評価方法	出席状況・授業参加への積極性・意欲で評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況・授業態度				○		100%
履修上の注意							

科目名	日本語 I C(聴解・N2前半)						
科目名(英)							
単位数	2/6単位	時間数	30/90時間	担当者	日本語科教員		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際自動車整備科1年						
授業概要	JLPTの問題形式に合わせて、それぞれに必要なスキルを学ぶ。JLPTに即した問題で練習しながら、出題のパターンと解法をつかむ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					具体的な課題解決に必要な情報を聞き取り、次に何をするのが適当か理解できる。	
	○					事前に示されている聞くべきことをふまえ、ポイントを絞って聞くことができる。	
	○					テキスト全体から話者の意図や主張などが理解できる。	
	○					質問などの短い発話を聞いて、適切な応答ができる。	
	○					長めのテキストを聞いて、複数の情報を比較・統合しながら、内容が理解できる。	
テキスト・教材 参考図書	氏原庸子 清島千春 佐伯玲子 著 『N2聴解必修パターン』 Jリサーチ出版 2017年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	基礎編1～7			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	2	課題理解1～4			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	3	課題理解5～9			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	4	課題理解10～13			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	5	ポイント理解14～16			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	6	ポイント理解17～20			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	7	概要理解21～24			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	8	概要理解25～28			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	9	即時応答29～37			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	10	即時応答38～46			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	11	統合理解47～49			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	12	統合理解50～52			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	13	模擬問題			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	14	模擬問題			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
15	確認テスト/フィードバック			学習した箇所を復習してください。(1時間)			
評価方法	(1)授業の中で確認テストを実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。評価は【日本語 I C(文法)】と合わせ、総合的に評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト		○		○		50%
定期試験		○				50%	
履修上の注意	各自、音声教材をダウンロードし、予習復習ができる環境を作ってください。						

科目名	日本語 I C(聴解・N2後半)						
科目名(英)							
単位数	2/6単位	時間数	30/90時間	担当者	日本語科教員		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際自動車整備科1年						
授業概要	JLPTの問題形式に合わせて、それぞれに必要なスキルを学ぶ。JLPTに即した問題で練習しながら、出題のパターンと解法をつかむ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					具体的な課題解決に必要な情報を聞き取り、次に何をするのが適当か理解できる。	
	○					事前に示されている聞かすべきことをふまえ、ポイントを絞って聞くことができる。	
	○					テキスト全体から話者の意図や主張などが理解できる。	
	○					質問などの短い発話を聞いて、適切な応答ができる。	
	○					長めのテキストを聞いて、複数の情報を比較・統合しながら、内容が理解できる。	
テキスト・教材 参考図書	氏原庸子 清島千春 佐伯玲子 著 『N2聴解必修パターン』 Jリサーチ出版 2017年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	基礎編1～7			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	2	課題理解1～7			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	3	課題理解8～13			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	4	ポイント理解14～16			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	5	ポイント理解17～20			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	6	概要理解21～24			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	7	概要理解25～28			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	8	即時応答29～46			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	9	統合理解47～49			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	10	統合理解50～52			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	11	模擬問題			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	12	模擬問題			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
	13	確認テスト／フィードバック			学習した箇所を復習してください。(1時間)		
	14	復習			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		
15	復習			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)			
評価方法	(1)授業の中で確認テストを実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。評価は【日本語 I C(文法)】と合わせ、総合的に評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト		○		○		50%
定期試験		○				50%	
履修上の注意	各自、音声教材をダウンロードし、予習復習ができる環境を作ってください。						

科目名	日本語 I C(文法・N2前半)				
科目名(英)					
単位数	4/6単位	時間数	60/90時間	担当者	日本語科教員
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際自動車整備科1年				
授業概要	日本語能力試験N2レベルの文法項目を学びます。例文を参考にしながら、意味や接続の形などを学びます。 文を作ったり、文章を読んだりしながら、その文法がどのように使われているかを知ります。 文法を学ぶことで、N2レベルの会話を聞いたり、文章を読んだりするための基礎力を高めます。				
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	目標 文の内容に合った文法形式かどうかを判断し、文を作ることができる。				
	○	○			
	N2レベルの文法知識を使って、意味が通る文を組み立てることができる。				
テキスト・教材 参考図書	ABK(アジア学生文化協会) 著 『TRY! 日本語能力試験N2』 アスク出版 2013年				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	1章 1～4			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	2	1章 5～8			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	3	2章 9～13			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	4	2章 14～17			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	5	2章 18～21			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	6	3章 22～25			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	7	3章 26～29			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	8	4章 30～33			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	9	4章 34～36			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	10	5章 37～41			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	11	5章 42～47			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	12	6章 48～52			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	13	6章 53～56			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	14	6章 57～59			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	15	復習テスト			復習テストに向けて復習をしておいてください。(1時間)
	16	7章 60～63			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	17	7章 64～68			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	18	7章 69～72			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	19	8章 73～77			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	20	9章 78～82			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	21	9章 83～87			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	22	9章 88～91			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
	23	10章 92～95			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)
24	10章 96～99			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)	

	25	11章 100～106	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)				
	26	12章 107～112	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)				
	27	12章 113～118	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)				
	28	13章 119～124	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)				
	29	13章 125～131	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)				
	30	14章 132～139	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間)				
評価方法	(1)授業の中で復習テストを実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 評価は【日本語 I C(聴解)】と合わせ、総合的に評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	復習テスト	○	○		○		50%
	定期試験	○	○				50%
履修上の注意							

科目名	日本語 I C(文法・N2後半)				
科目名(英)					
単位数	4/6単位	時間数	60/90時間	担当者	柴藤
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際自動車整備科1年				
授業概要	日本語能力試験N2レベルの文法項目を学びます。例文を参考にしながら、意味や接続の形などを学びます。文を作ったり、文章を読んだりしながら、その文法がどのように使われているかを知ります。文法を学ぶことで、N2レベルの会話を聞いたり、文章を読んだりするための基礎力を高めます。JLPTの問題を多く解くことで、JLPTの問題形式に慣れて、合格できる力を養成します。				
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
学習目標(到達目標)	文の内容に合った文法形式かどうかを判断し、文を作ることができる。 N2レベルの文法知識を使って、意味が通る文を組み立てることができる。				
テキスト・教材 参考図書	遠藤ゆう子 著 遠藤由美子 監修「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」J「日本語能力試験対策N2文法模擬テスト」三修社 2010年 渡邊亜子 白石和代 著「N2文法スピードマスター」Jリサーチ出版 2011年 国書刊行会「日本語能力試験直前対策N2文字・語彙・文法」				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第9週5日目、第5週復習			教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	2	「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」第9週小テスト			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)
	3	総復習(「日本語能力試験対策N2文法模擬テスト」 Part1)			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)
	4	総復習(「日本語能力試験対策N2文法模擬テスト」 Part2)			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)
	5	総復習(「日本語能力試験対策N2文法模擬テスト」 Part3)			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)
	6	総復習(「日本語能力試験対策N2文法模擬テスト」 模擬試験①)			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)
	7	総復習(「日本語能力試験対策N2文法模擬テスト」 模擬試験②)			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)
	8	総復習(「日本語能力試験対策N2文法模擬テスト」 模擬試験③)			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)
	9	総復習(「N2文法スピードマスター」ドリルA・B)			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)
	10	総復習(「N2文法スピードマスター」ドリルC)			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)
	11	総復習(「N2文法スピードマスター」 実戦練習①)			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)
	12	総復習(「N3文法スピードマスター」 実戦練習②)			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)
	13	総復習(「N2文法スピードマスター」 模擬試験①)			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)
	14	総復習(「N2文法スピードマスター」 模擬試験②)			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)
	15	総復習(「N2文法スピードマスター」 模擬試験③)			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)
	16	総復習(「日本語能力試験直前対策N2」第1回)			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)
	17	総復習(「日本語能力試験直前対策N2」第2回)			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)
	18	総復習(「日本語能力試験直前対策N2」第3回)			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)
	19	総復習(「日本語能力試験直前対策N2」第4回)			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)
	20	総復習(「日本語能力試験直前対策N2」第5回)			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)
	21	総復習(「日本語能力試験直前対策N2」第6回)			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)
	22	総復習(「日本語能力試験直前対策N2」第7回)			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)
	23	総復習(「日本語能力試験直前対策N2」第8回)			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)
	24	総復習(「日本語能力試験直前対策N2」第9回)			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)
	25	総復習(「日本語能力試験直前対策N2」第10回)			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)

	26	総復習(「日本語能力試験直前対策N2」第11回)	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)				
	27	総復習(「日本語能力試験直前対策N2」第12回)	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)				
	28	総復習(「日本語能力試験直前対策N2」第13回)	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)				
	29	総復習(「日本語能力試験直前対策N2」第14回)	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)				
	30	総復習(「日本語能力試験直前対策N2」第15回)	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)				
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 評価は【日本語 I C(聴解)】と合わせ、総合的に評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト	○	○		○		50%
履修上の注意							

科目名	日本語 I D(語彙・N2前半)				
科目名(英)					
単位数	4/6単位	時間数	60/90時間	担当者	松本
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	国際自動車整備科1年				
授業概要	能力試験N2合格を目標にN2レベルの語彙を理解し使うことができるようにする。語彙を増やし、読む・聴く・話すための基礎を養成する。				
授業形式	講義	△	演習: ○	実習:	実技: ※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	目標				
	ひらがなで書かれたN2レベルの語を漢字で書くことができる。				
	N2レベルの漢字で書かれた語を読むことができる。				
前後の文脈に合う語彙(N2レベル)を使うことができる。					
ある語や表現を意味的に近い他の語や表現に置き換えることができる。					
テキスト・教材 参考図書	・佐々木仁子 松本紀子 著「日本語総まとめ N2 語彙」アスク出版 2010年				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	総まとめN2語彙1週1日目2日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	2	総まとめN2語彙1週3日目4日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	3	総まとめN2語彙1週5日目6日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	4	総まとめN2語彙1週7日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	5	総まとめN2語彙2週1日目2日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	6	総まとめN2語彙2週3日目4日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	7	総まとめN2語彙2週5日目6日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	8	総まとめN2語彙2週7日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	9	総まとめN2語彙1週2週確認テスト			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)
	10	総まとめN2語彙3週1日目2日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	11	総まとめN2語彙3週3日目4日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	12	総まとめN2語彙3週5日目6日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	13	総まとめN2語彙3週7日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	14	総まとめN2語彙4週1日目2日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	15	総まとめN2語彙4週3日目4日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	16	総まとめN2語彙4週5日目6日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	17	総まとめN2語彙4週7日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	18	総まとめN2語彙3週4週確認テスト			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)
	19	N2能力試験対策			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	20	N2能力試験対策			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	21	N2能力試験対策			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
	22	総まとめN2語彙5週1日目2日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)
23	総まとめN2語彙5週3日目4日目			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	

	24	総まとめN2語彙5週5日目6日目	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	25	総まとめN2語彙5週7日目	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	26	総まとめN2語彙6週1日目2日目	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	27	総まとめN2語彙6週3日目4日目	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	28	総まとめN2語彙6週5日目6日目	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	29	総まとめN2語彙6週7日目	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)				
	30	総まとめN2語彙5週6週確認テスト	確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)				
評価方法	(1) 授業の中で確認テストを3回実施する。(2) 定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 評価は【日本語 I D(読解)】と合わせ、総合的に評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	○		○		50%
	定期試験	○	○				50%
履修上の注意							

科目名	日本語 I D(語彙・N2後半)						
科目名(英)							
単位数	4/6単位	時間数	60/90時間	担当者	日本語科教員		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際自動車整備科1年						
授業概要	日本語能力試験N2の問題を数多く解くことで、試験の傾向や特徴をつかみ、N2に合格できる語彙力を養成する。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					漢字の読み方・書き方がわかる。	
	○	○				派生語や複合語を覚えて、使うことができる。	
	○	○				文に合った適切な言葉を選ぶことができる。	
	○	○				ある言葉や表現と意味的に近い言葉や表現を覚え、使うことができる。	
	○	○				ある語が文の中でどのように使われるか理解し、使うことができる。	
テキスト・教材 参考図書	松浦真理子 鈴木健司 監修 『日本語パワードリルN2文字・語彙』 アスク出版 2010年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	「日本語パワードリルN2文字語彙」1～3回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	2	「日本語パワードリルN2文字語彙」4～6回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	3	集中トレーニング(動詞・擬音語) / 確認テスト			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)		
	4	「日本語パワードリルN2文字語彙」7～9回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	5	「日本語パワードリルN2文字語彙」10～12回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	6	集中トレーニング(カタカナ語) / 確認テスト			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)		
	7	「日本語パワードリルN2文字語彙」13～15回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	8	「日本語パワードリルN2文字語彙」16～18回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	9	集中トレーニング(接続語) / 確認テスト			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)		
	10	「日本語パワードリルN2文字語彙」19～21回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	11	「日本語パワードリルN2文字語彙」22～24回			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	12	集中トレーニング(副詞・慣用句) / 確認テスト			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)		
	13	「日本語パワードリルN2文字語彙」25回 / 集中トレーニング(慣用句)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	14	新聞・ニュースの語彙			授業で学んだ言葉・表現を復習すること(0.5時間)		
15	新聞・ニュースの語彙			授業で学んだ言葉・表現を復習すること(0.5時間)			
評価方法	(1)授業の中で確認テストを実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	確認テスト	○	○		○		50%
履修上の注意							

科目名	日本語 I D(読解・N2前半)						
科目名(英)							
単位数	2/6単位	時間数	30/90時間	担当者	小池		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際自動車整備科1年						
授業概要	「指示詞」「主語述語」「比喩」など読解のストラテジーをテーマごとに学習し、読解の基礎力を固める。その後、JLPTに即した様々な形式の問題で練習しながら、出題のパターンと解法をつかむ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				複雑な文や文章の構造が理解できるようになる。	
	○	○				500字程度の中文を読み、内容の事実関係や筆者の考えなどを読み取ることができる。	
	○	○				900字程度の長文を読み、全体として伝えようとしている主張や意見がつかめる。	
	○	○				600字程度の複数の文章を読み比べて、比較したり統合したりしながら理解できる。	
○	○				700字程度の広告やパンフレットを読んで、必要な情報を見つけることができる。		
テキスト・教材 参考図書	・氏原庸子 清島千春 佐伯玲子 著 『N2読解必修パターン』 Jリサーチ出版						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	基礎編 第1章 短文・中文:指示詞、事実関係			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	2	基礎編 第1章 短文・中文:言葉の意味、話の展開			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	3	基礎編 第1章 短文・中文:人物の気持ち、理由や根拠			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	4	基礎編 第1章 短文・中文:全体の内容、筆者が言いたいこと			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	5	基礎編 第1章 短文・中文:連絡文、情報検索			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	6	基礎編 第2章 長文A:解説、論説			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	7	基礎編 第2章 長文B:エッセイ、小説、紀行文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	8	確認テスト /フィードバック			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	9	対策編 第1章 対策準備			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	10	対策編 第2章 実践練習(内容理解):短文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	11	対策編 第2章 実践練習(内容理解):中文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	12	対策編 第2章 実践練習(統合理解)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	13	対策編 第2章 実践練習(主張理解)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	14	対策編 第2章 実践練習(情報理解)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
15	復習			確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)			
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。評価は【日本語 I D(語彙)】と合わせ、総合的に評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	○		○		50%
定期試験	○	○				50%	
履修上の注意							

科目名	日本語 I D(読解・N2後半)						
科目名(英)							
単位数	2/6単位	時間数	30/90時間	担当者	日本語科教員		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際自動車整備科1年						
授業概要	前期で学習した読解のストラテジーを意識しながら、N2レベルの様々な文章を読み、読解力の向上を図る。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				複雑な文や文章の構造が理解できるようになる。	
	○	○				500字程度の中文を読み、内容の事実関係や筆者の考えなどを読み取ることができる。	
	○	○				900字程度の長文を読み、全体として伝えようとしている主張や意見がつかめる。	
	○	○				600字程度の複数の文章を読み比べて、比較したり統合したりしながら理解できる。	
○	○				700字程度の広告やパンフレットを読んで、必要な情報を見つけることができる。		
テキスト・教材 参考図書	・小林ひとみ 桑原里奈 木林理恵 著 『N2読解スピードマスター』 Jリサーチ出版 2011年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	内容理解 短文 1~4			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	2	内容理解 短文 5~8			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	3	内容理解 短文 9~12			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	4	内容理解 中文 1~3			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	5	内容理解 中文 4~6			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	6	内容理解 中文 7~10			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	7	統合理解 1~3			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	8	主張理解 長文 1~2			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	9	主張理解 長文 3~4			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	10	情報検索 1~3			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	11	第1回模擬試験①			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	12	第1回模擬試験②			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	13	第2回模擬試験①			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	14	第2回模擬試験②			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
15	復習			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)			
評価方法	(1) 定期試験を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 評価は【日本語 I D(語彙)】と合わせ、総合的に評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				100%
履修上の注意							

科目名	ビジネス日本語 I B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	小池		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	国際自動車整備科1年						
授業概要	ビジネスシーンを具体的にとりあげ、各シーンにおける対応を紹介することで学習者の日本におけるビジネスへの理解を深める。また各シーンをロールプレイ練習することで、シーンにあった敬語表現や、ビジネスマナーの基本を身につけることを目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ビジネスシーンでの適切なことば・表現を使うことができる。	
		○				ビジネスシーンでの敬語表現・マナーに注意して、コミュニケーションをとることが出来る。	
テキスト・教材 参考図書	宮崎道子 郷司幸子 著 『日本語で働く! ビジネス日本語30時間』 スリーエーネットワーク 2009年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	5課:頼む・断る①(目的・クイズ・表現・ことば・談話)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	2	5課:頼む・断る②(会話練習)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	3	5課:頼む・断る③(ロールプレイ・コラム)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	4	6課:許可をもらう①(目的・クイズ・表現・ことば・談話)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	5	6課:許可をもらう②(会話練習)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	6	6課:許可をもらう③(ロールプレイ)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	7	6課:許可をもらう④(ロールプレイ・コラム)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	8	7課:アポイントをとる①(目的・クイズ・表現・ことば・談話)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	9	7課:アポイントをとる②(会話練習)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	10	7課:アポイントをとる③(ロールプレイ)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	11	7課:アポイントをとる④(ロールプレイ・コラム)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	12	8課:訪問する①(目的・クイズ・表現・言葉)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	13	8課:訪問する②(会話練習)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	14	8課:訪問する③(ロールプレイ)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
	15	8課:訪問する④(ロールプレイ・コラム)			モデル会話の音読・表現復習(0.5時間)		
評価方法	(1)授業の中でのロールプレイの発表 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	ロールプレイ発表	○	○		○		100%
履修上の注意							

科目名	応用日本語 I B(N2前半)					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	日本語科教員	
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	国際自動車整備科1年					
授業概要	JLPTと同様の形式の問題を数多く解いて、N2に合格できる力を養成します。 読解と聴解の問題が中心ですが、他の授業で学習した語彙や文法がどのように使われているかにも注目して、学習を進めます。模擬試験を実施して、試験に慣れると同時に、自分の現在のレベルをチェックします。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				文章の構造や指示語が何を示しているか理解できる。
	○	○				一般的な話題について書かれた文章について大意を掴むことができる。
	○	○				一般的な話題に関する会話やモノローグを聞いて、話の流れや表現が理解できる。
テキスト・教材 参考図書	・星野恵子 辻和子 著 『ドリル&ドリル N2 聴解・読解』UNICOM 2010年					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	【聴解】課題理解 第1回 / 【読解】 内容理解 短文			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	2	【聴解】課題理解 第2回 / 【読解】 内容理解 短文			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	3	【聴解】ポイント理解 第1回 / 【読解】 内容理解 短文			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	4	【聴解】ポイント理解 第2回 / 【読解】 内容理解 短文			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	5	【聴解】概要理解 第1回 / 【読解】 内容理解 短文			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	6	【聴解】概要理解 第2回 / 【読解】 内容理解 短文			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	7	【聴解】即時応答 第1回 / 【読解】 内容理解 短文			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	8	【聴解】即時応答 第2回 / 【読解】 内容理解 短文			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	9	【聴解】統合理解 / 【読解】 内容理解 短文			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	10	【聴解】統合理解 / 【読解】 内容理解 短文			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	11	模擬試験			学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	12	模擬試験			学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	13	【聴解】課題理解 第3回 / 【読解】 情報検索			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	14	【聴解】課題理解 第4回 / 【読解】 情報検索			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	15	【聴解】ポイント理解 第3回 / 【読解】 主張理解			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	16	【聴解】ポイント理解 第4回 / 【読解】 主張理解			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	17	模擬試験			学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	18	模擬試験			学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	19	【聴解】 概要理解 第3回 / 【読解】 主張理解			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	20	【聴解】 概要理解 第4回 / 【読解】 内容理解 中文			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	21	【聴解】 即時応答 第3回 / 【読解】 内容理解 中文			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	22	【聴解】 即時応答 第4回 / 【読解】 内容理解 中文			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
23	【聴解】 統合理解 第3回 / 【読解】 内容理解 中文			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		

	24	【聴解】 統合理解 第4回 / 【読解】 統合理解	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)				
	25	【聴解】課題理解 第5回 / 【読解】 統合理解	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)				
	26	【聴解】ポイント理解 第5回 / 【読解】 復習	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)				
	27	【聴解】 概要理解 第5回 / 【読解】 復習	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)				
	28	【聴解】 即時応答 第5回 / 【読解】 復習	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)				
	29	【聴解】 統合理解 第5回 / 【読解】 復習	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)				
	30	【聴解】 復習 / 【読解】 復習	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)				
評価方法	(1) 授業の中で模擬試験を2回実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	○		○		100%
履修上の注意							

科目名	応用日本語 I B(N2後半)					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	日本語科教員	
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	国際自動車整備科1年					
授業概要	JLPTと同様の形式の問題を数多く解いて、N2に合格できる力を養成します。 読解と聴解の問題が中心ですが、これまで学んだ語彙や文法がどのくらい身についているかを確認しながら、学習を進めます。模擬試験を実施して、試験に慣れると同時に、自分の現在のレベルを確認します。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				文章の構造や指示語が何を示しているか理解できる。
	○	○				一般的な話題について書かれた文章について大意を掴むことができる。
	○	○				一般的な話題に関する会話やモノローグを聞いて、話の流れや表現が理解できる。
テキスト・教材 参考図書	・筒井由美子 大村礼子 沼田宏 著 『JLPT N2ベスト模試』 ジャパンタイムズ 2019年 ・千駄ヶ谷日本語教育研究所 著 『日本語能力試験 N2 模擬テスト』 スリーエーネットワーク 2013年					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	N2演習 文字語彙①			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	2	N2演習 文法①			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	3	N2演習 聴解①-1			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	4	N2演習 聴解①-2			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	5	N2演習 読解①-1			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	6	N2演習 読解①-2			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	7	N2演習 文字語彙②			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	8	N2演習 文法②			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	9	N2演習 聴解②-1			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	10	N2演習 聴解②-2			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	11	N2演習 読解②-1			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	12	N2演習 読解②-2			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	13	模擬試験			学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	14	模擬試験			学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	15	N2演習 文字語彙③			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	16	N2演習 文法③			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	17	N2演習 聴解③-1			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	18	N2演習 聴解③-2			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	19	N2演習 読解③-1			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	20	N2演習 読解③-2			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	21	模擬試験			学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	22	模擬試験			学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
23	N2演習 文字語彙④			事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)		

	24	N2演習 文法④	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)				
	25	N2演習 聴解④-1	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)				
	26	N2演習 聴解④-2	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)				
	27	N2演習 読解④-1	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)				
	28	N2演習 読解④-2	事前に指定した箇所を予習してください。(0.5時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)				
	29	復習	学習した箇所を復習してください。(0.5時間)				
	30	復習	学習した箇所を復習してください。(0.5時間)				
評価方法	(1) 授業の中で模擬試験を2回実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	○		○		100%
履修上の注意							